

とは誠に哀惜に絶へない。とくにこの高台附近は主戦場の一部としてその戦闘は最も激烈を極めた。

星霜十九年を経て、いまこの悲しみの地にそれらの人びとの御冥福を祈るため京都府市民によって「京都の塔」が建立されるにいたった。

再び戦争の悲しみが繰り返かえされることのないよう、また併せて沖繩と京都とを結ぶ文化と友好の絆がますますたかめられるよう、この塔に切なる願いをよせるものである。

昭和三十九年四月二十九日

平成二十六年十二月八日、今回で十三回目を数える神道政治連盟京都府本部主催の沖繩「京都の塔」慰霊祭は、京都出身の英霊をはじめ沖繩戦の犠牲となった方々の御霊を鎮め、報恩の誠を捧げて吉田副本部長齋主のもと厳肅に斎行された。祭典中、降りしきる大粒の雨は、あたかも英霊の御心をあらわしているようであり、胸中の琴線に触れる思いであった。

今の平和と繁栄が、戦死者の尊い犠牲の上にあるということと、先人から受け継いだ痛ましい戦争の記憶を、多くの方々と共に共有し未来にしっかりと継いでゆくために、まさに碑文に書かれた理念の体現として、この慰霊祭と慰霊参拝の意義をあらためて認識することができた。

最後に慰霊祭の諸準備をご手配いただいている波上宮渡慶次宮司をはじめ職員の皆様、参拝団の企画運営をしていただいた事務局の方々に、心より感謝申し上げます。



府関係祭神追悼慰霊祭齋行

平成27年4月16日～17日

副幹事長 倭文神社宮司 後藤 重和

去る四月六日から七日にかけて、京都府神社庁との共催で、「終戦七十年靖國神社参拝旅行」が実施された。本年は、大東亜戦争終結七十年の節目であるだけに、例年より多くの皆さんに参拝してほしいという林本部長の強い思いがあり、今回は日帰りコースと一泊コースの二パターンで計画された。その結果、日帰りコース三十六名、一泊コース三十名と現地集合二十八名、合計九十四名の大参拝団が結成されたのである。

四月六日午前九時、現地集合組を除いた六十六名が京都駅新幹線中央改札口前に集合、本部長挨拶ののち、九時三十三分発のひかり号に乗車した。途中、名古屋駅で昼食用の弁当を積み込み、一路品川へと向かう。今回の慰霊祭では、参拝後に直会が予定されていたので、昼食弁当も早めにいただいた。品川でバス二台に分乗し靖國神社へ到着、慰霊祭は午後一時開式のため、さつそく参集殿に集合する。

終戦70年

靖國神社参拝及び京都

併 東日本大震災被災地視察追悼行事

この日の東京は、上着を着ていると汗ばむほどの陽気に包まれ、靖國神社境内のソメイヨシノは、桜まつりの期間中にもかかわらず既に青葉が色濃くなっていた。聞けば、一昨日から昨日にかけての風雨でいつきに散ったとのこと。思わず今日の天気感謝する。境内は、平日の月曜日とは思えないほど多くの参拝者でにぎわっていた。

参集殿二階で田中恆清神社庁長、荒巻禎一総代会長、田中安比呂日本会議・京都会長と合流し、改めて靖國神社徳川宮司様より歓迎のご挨拶をいただいた。ほどなく準備が整い、手水をとり心淨めて拝殿へと向かう。さわやかな春の風が通り過ぎていく。拝殿にて国歌を奉唱し修祓をうけ、いよいよ回廊を通って本殿へ。徳川宮司様によれば、靖國神社には七万三千柱を超える京都府関係のほ御祭神がおまつりされているとのこと、本殿での慰霊祭詞奏上や玉串奉奠、黙とうの間、散華された英霊のその瞬間に思いを致し、「どうか日本の国をお守り下さい」と、心からの祈りを捧げた。



直会は、遊就館の隣に建つ靖国会館二階で、午後二時から行われた。最初に林本部長より、挨拶と共に今回の参拝団結成の経緯が紹介され、続いて田中神社庁長が「靖國神社は英霊を顕彰する施設であり、英霊の雄々しい姿を顕彰することが大切だ」との徳川宮司様の言葉を引用してご挨拶、荒巻総代会長の献杯で直会が始まった。料理内容は軽いオードブルとサンドイッチだったが、時間が時間だけに、特に一泊組は夕食のことも念頭に腹具合と相談しつつの直会である。三十分ほどで中締めとなり、田中安比呂日本会議・京都会長より「ますらおの 悲しき命つみ重ね つみ重ね守る 大和島根を」の和歌が紹介され、「今後も変わらず慰霊を捧げたい」との言葉で締めくくられた。ここで日帰りコースと一泊コースが分かれ、日帰りコースは遊就館見学のち京都へ向けて出発、一泊コースはバスで福島県いわき市へ向かった。

今宵の宿は、常磐炭鉱から華麗な変身を遂げた、『スパリゾート・

ハワイアンズ』である。「常磐ハワイアンセンターなら聞いたことがあるが」と言ったら「それがリネームされただけだ」とのことだった。およそ三時間弱のバス旅行のあいだに、精進落しの酒をたっぷりといただく。靖國神社の直会で夕食の心配をしたのは何だったのか、と頭をかすめつつもおいしいお酒をいただいているうちに、あつというまにハワイアンズに到着。東北の玄関口である福島と、常夏のハワイとが明らかにミスマッチであり、不思議な感覚にとらわれる。夕食は六時半からであり、六時前に到着した我々には部屋でくつろいだり、風呂に入ったりする余裕はない。また、夜の宴会には県神社庁いわき支部の神職の方々がご同席いただけるそうなので、スーツのまま宴会場へと入った。

宴会には、いわき支部より山名支部長以下九名の神職にご参加いただき、和やかに歓談したが、ハワイアンズの売りは何と言ってもフラガールによるポリネシアンレビューである。午後八時半からのシヨ



ーを見るためには、着替えている時間もない。いきおいダークスーツに身を固めた一団が、華やかなプールサイドの客席に散らばった。周囲は、ホテルの館内着であるアロハやムームーの客であふれている。我々の服装は、福島とハワイ以上のミスマッチだったに違いないが、そんなことはお構いなく強い暖房に汗をかきながらもショーを楽しんだ。

二日目は、八時からハワイアンズの下山田元支配人より、東日本大震災発生以後のハワイアンズの対応について講話をいただいた。震災の瞬間二、五〇〇名いた客の避難、地元被災者の支援、心折れそうなスタッフのケア、崩壊した建物の復旧など、昭和四十一年創業以来最大のピンチをどう切り抜けたか、その具体的な内容に大変勉強させていただいた。続いて、バスに乗り四十分ほど常磐自動車道を北上する。路肩に放射能の線量計が見え、事故を起こした原発に近づいていることを実感する。

目的地であるいわき市久之浜の諏訪神社は、津波で社務所一階が水没する被害を受けた由。バスを降りて鳥居を背に数百メートル先の海を見渡すと、堤防まではほぼ壊滅状態で荒涼とした土地のみが続き、ところどころに重機の姿が見える。この度、地域復興の精神的よりどころとなつている同神社に、北野天満宮より紅梅が献木されることになり、正式参拝と共に目録の贈呈式が拝殿にて執り行われた。この梅は、北野天満宮の橘宮司様によって『御霊鎮めの紅梅』と名付けられ、参拝後に丹治福島県神社庁長と諏訪神社高木宮司、林本部長により植樹式が行われた。折しも雨が降り始め、今回の旅行中この時だけ傘をさすことになったのは、梅に対する神々の恵みの雨だったのかもしれない。その後、山名支部長のご案内でバス車中から被災地の現状を視察させていただき、福島を後にした。

今回の靖國神社参拝旅行は終戦七十年記念らしく、様々なことを考えさせられる充実した旅行となった。



京都府議会神道議員連盟 京都市神道議員連盟

会員の ご紹介



京都府議会
能勢昌博先生

日頃より、神道政治連盟の関係者の皆様には、日本の文化・伝統を正しく伝えることを目的とし、様々な活動に取り組みれています。心より敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、三月に東京都渋谷区では、同性カップルに「結婚に相当する関係」を認める証明書を発行することを盛り込んだ条例案が議会に提出され、日本社会の家族制度と伝統や教育を破壊する条例は許さないと、様々な方面から強い反発が出ているところであります。

自由と権利ばかりを主張し、義務と責任を重んじない。今の現状に憂いを感じられる方も多くと存じますが、神道を中心とした精神的な価値の大切さを伝えていくことが、ますます重要になってきます。

自宅に神棚のない家庭が増えておりますが、まずは地域の氏神様との関わりを深める為に、神社で開催される地域の行事やお祭りに参加していただき、氏神様の存在を再確認することから始めていくことが必要ではないでしょうか。

私も、微力ながら地元神社の氏子青年部として、若年層の会員増強に取り組んでおります。

これからも世界から尊敬される日本の伝統文化を継承できるような教育問題にも積極的に取り組んで参ります。



京都市会
吉井あきら先生

神道政治連盟京都府本部の皆様におかれましては、世界に誇る日本人の文化・伝統を後世に正しく伝えるため日々活躍いただき、心から感謝申し上げます。とともに、私自身、戦後おろそかにされてきた精神的な価値の大切さを訴え、私たちが生まれこの国に自信と誇りを取り戻す活動のため、邁進して参る決意を新たにしております。

さて、先般世界文化遺産の賀茂御祖神社様の境内におけるマンション建設の話がございました。我々京都市神道議員連盟といたしましても、この問題は単に景観の問題ではなく、社会等の皆様方がおかれている現状を踏まえ、より根本的な問題解決を図るべく国等の財政措置が必要であると訴え、その意見書を国へ提出いたしました。

我々議員は、こうした現状を幅広く市民の皆様にお伝えしながら行政を動かし、京都が世界に誇る文化をしっかりと次世代に引き継がなければならないと考えております。

私事で恐縮ですが、この度市会運営委員長を拝命し、日々京都市会の運営に尽力しております。改選後は交渉会派も増え、その運営は予断を許さない状況にあります。最大会派としてしっかりと運営して参る決意でございますので、今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。

平成26年

- 12月1日 神道政治連盟近畿地区協議会 本部長以下2名出席〈於 大阪府神社庁〉
 // 洛西支部神宮大麻曆頒布始奉告祭並び総代会総会 花房副本部長出席〈於 松尾大社〉
 12月8・9日 沖繩京都の塔慰霊参拝団結成〈於 沖繩県 嘉数高台〉
 12月10日 神社庁教化委員会並び関係団体代表者懇話会 林本部長出席〈於 京都府神社会館〉
 12月19日 京都府本部役員会 林本部長以下23名〈於 ホテルグランヴィア京都〉
 12月23日 天長節奉祝日本会議京都市式典 70名〈於 リーガロイヤルホテル京都〉

平成27年

- 1月9日 安倍首相靖國神社参拝訴訟（大阪）第3回口頭弁論〈於 大阪地方裁判所〉
 1月20日 宮崎義敬神政連常任顧問出版記念祝賀会 林〈於 明治記念館〉
 1月24日 京都府神社庁新年神職総会関係団体助成金交付式 林本部長出席〈於 京都府神社会館〉
 1月30日 京都の躰を語る女性の会提言者会議 6名出席〈於 京都府神社会館〉
 1月31日 寺田一博市会議員を囲む会 本部長・梶幹事長〈於 ANA クラウンプラザホテル〉
 2月5日 神政連滋賀県本部時局講演会 花房副本部長出席〈於 栗東芸術文化会館さくら〉
 2月11日 建国記念の日奉祝京都市式典 関係者出席〈於 京都府神社会館〉
 2月12・13日 お伊勢さん初まり 林本部長出席〈於 神宮〉
 2月18日 京都府神社庁祈年祭 林本部長参列〈於 京都府神社会館神殿〉
 2月21日 渡辺邦子京都府議会議員を囲む会 林本部長〈於 ウェスティン都ホテル〉
 2月22日 桜井泰広市会議員を囲む会 林本部長出席〈於 グランドプリンスホテル京都〉
 2月23日 安倍首相靖國神社参拝訴訟（大阪）第4回口頭弁論〈於 大阪地方裁判所〉
 2月28日 神道政治連盟兵庫県本部時局講演会 本部長・事務局長出席〈於 楠公会館〉
 3月3日 京都府本部役員会 林本部長以下22名〈於 京都府神社会館〉
 3月14日 西田昌司参議院議員政経パーティー 5名出席〈於 京都プライトンホテル〉
 // 自民党京都府連合会統一地方選挙総決起大会 本部長以下関係者出席〈於 シルクホール〉
 3月19日 美しい日本をつくる国民の会総会 本部長・事務局長出席〈於 衆議院第一会館〉
 3月23日 神道政治連盟第13回時局対策連絡会議 田中青年隊員・中森事務局員〈於 皇居・神社本庁〉
 ~27日
 3月30日 京都府神社総代会総会 林本部長出席〈於 ホテルグランヴィア京都〉
 3月31日 府議会並び市会議連役員選挙事務所訪問 林本部長・中森事務局員〈於 各選挙事務所〉
 4月3日 第18回統一地方選挙（前半）告示 府議会候補者28名、市議会候補24名推薦
 4月6・7日 靖國神社慰霊参拝団並びいわき市震災視察 92名参列出席〈於 靖國神社・いわき市〉
 4月10日 安倍首相靖國神社参拝訴訟（大阪）第5回口頭弁論〈於 大阪地方裁判所〉
 4月12日 第18回統一地方選挙（前半）投開票 府議会議員27名、市議員21名当選
 4月17日 京都府神社庁例祭 林本部長〈於 京都府神社会館〉
 // 神社庁並び総代会関係者合同会議 林本部長〈於 京都府神社会館〉
 4月19日 第18回統一地方選挙（後半）告示 京田辺市長候補者推薦
 4月22・23日 神道政治連盟綱紀委員会、同役員会 林本部長出席〈於 神社本庁〉
 4月26日 第18回統一地方選挙（後半）投開票 石井京田辺市長当選
 5月6日 京都府神社洛東支部総代会総会 林本部長出席〈於 魚善〉
 5月12日 清和政策研究会との懇親の集い 林本部長出席〈於 東京プリンスホテル〉
 5月13日 神政連三役会〈於 糸仙〉
 5月27日 京都の躰を語る女性の会例会〈於 貴船神社〉
 6月3日 神道政治連盟役員会 林本部長出席〈於 神社本庁〉
 // 神道政治連盟本部長事務局長連絡会 林本部長 中嶋事務局長出席〈於 神社本庁〉
 // 神道政治連盟結成45周年記念式典 林本部長以下4名出席〈於 ホテルニューオオタニ〉
 // 神道政治連盟・国会議員懇談会結成45周年記念合同祝賀会 林本部長以下4名出席〈於 同上〉
 6月4日 神道政治連盟中央委員会 林本部長以下5名出席〈於 神社本庁〉
 6月5日 西田昌司参議院議員国政報告会 林本部長以下5名出席〈於 シルクホール〉
 6月9日 安倍首相靖國神社参拝訴訟（大阪）第6回口頭弁論〈於 大阪地方裁判所〉
 6月15日 京都府本部綱紀並び財務合同委員会〈於 京都府神社会館〉
 // 京都府本部役員会〈於 京都府神社会館〉
 6月20日 船井支部神社総代会総会〈於 和知ふれあいセンター〉
 6月24日 第29回会員大会開催〈於 リーガロイヤルホテル京都〉
 // 清政第58号発行

御製を待とう

我もまた近き齡にありしかば沁みて悲しく討馬丸思ふ

大東亜戦争末期の昭和十九年八月、私たちが一昨年慰霊に訪れたサイパン島が、米軍の激しい攻撃によって陥落しました。その後政府は、沖縄知事に対し本土または台湾へ非戦闘員である老人や婦女児童を疎開させるよう命令しました。そして昭和十九年八月二十日、一般人及び那覇国民学校の児童、その介添者合わせて一、六六一名と乗組員八六名を載せた学童疎開船「対馬丸」は、那覇港を出港しましたが、その二日後の二十二日、対馬丸は鹿児島県石島沖で米潜水艦の攻撃を受けて沈没、学童七八〇人を含む一、四八五人が命を失いました。攻撃は夜の十時過ぎ、その多くが就寝していたため脱出出来ずに船倉に取り残されました。また接近中だった台風の影響で海は荒れており、運良く脱出した人の多くも高波に流され助かりませんでした。天皇皇后両陛下におかせられては、昨年六月沖縄県に行幸啓され「対馬丸記念館」を御訪問になり、生存者や遺族の方々と御懇談あそばされました。この皇后陛下の御歌は、対馬丸の犠牲者の多くが、両陛下と同じ年代の子どもたちであったことをとりわけ悲しくお感じになり、犠牲者を偲び悼まれた御心をお詠みになったものと、畏れながら拝察いたします。

編集後記

選挙は投票率によって大きく左右される。一般の統一地方選では軒並み過去最低を記録。一方「大阪都構想」の賛否を問う住民投票では六六・八三%と過去十年で最高の投票率を記録した。しかし若者の投票率の低さは否めない。総務省の統計では、昭和四十四年衆院総選挙の二十歳代の投票率は平均を九%下回り最低。それ以降最低を続けている。憲法改正に向けて「美しい日本の憲法をつくる国民の会」が発足し着実に歩みを進め、国政では選挙権年齢も引き下げが決まりそうだ。若者の投票行動をいかに促すか、若者にいかに訴えかけるか、これからの日本を担う若者が本当の意味で「未来」を握っている。(神)



神道政治連盟京都府本部会報

清政 第58号

発行日：平成27年6月24日
発行所：神道政治連盟京都府本部
〒616-0022
京都市西京区嵐山朝月町68-8
電話075-863-6677
編集協力：テンセイ・コモンズ